

令和5年度水道ビジョンの進捗報告

令和6年(2024年)10月18日
東大阪市上下水道局
水道総務部水道経営室



MONOZKURI CITY

HIGASHI-OSAKA

WHERE THE ANSWER IS





目次

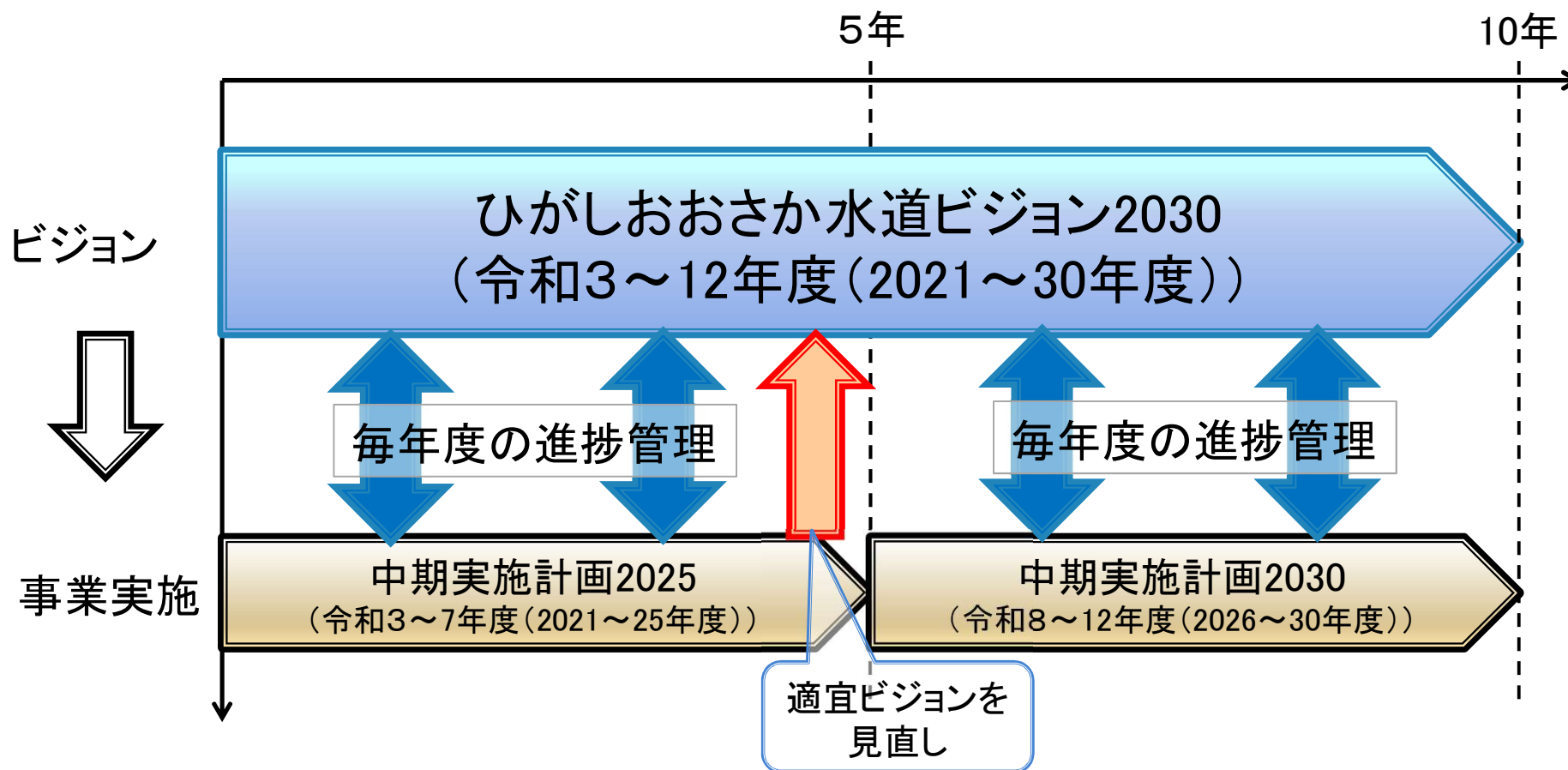
1. 進捗管理の考え方
2. 令和5年度の進捗管理の総括
3. 取組の進捗状況と課題への対応
4. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ



1. 進捗管理の考え方

《 水道ビジョン・中期実施計画 》

水道ビジョンの進捗管理の考え方は、実行計画である中期実施計画により進捗管理を行うことで、水道ビジョンで設定した施策を着実に実施します。



1. 進捗管理の考え方

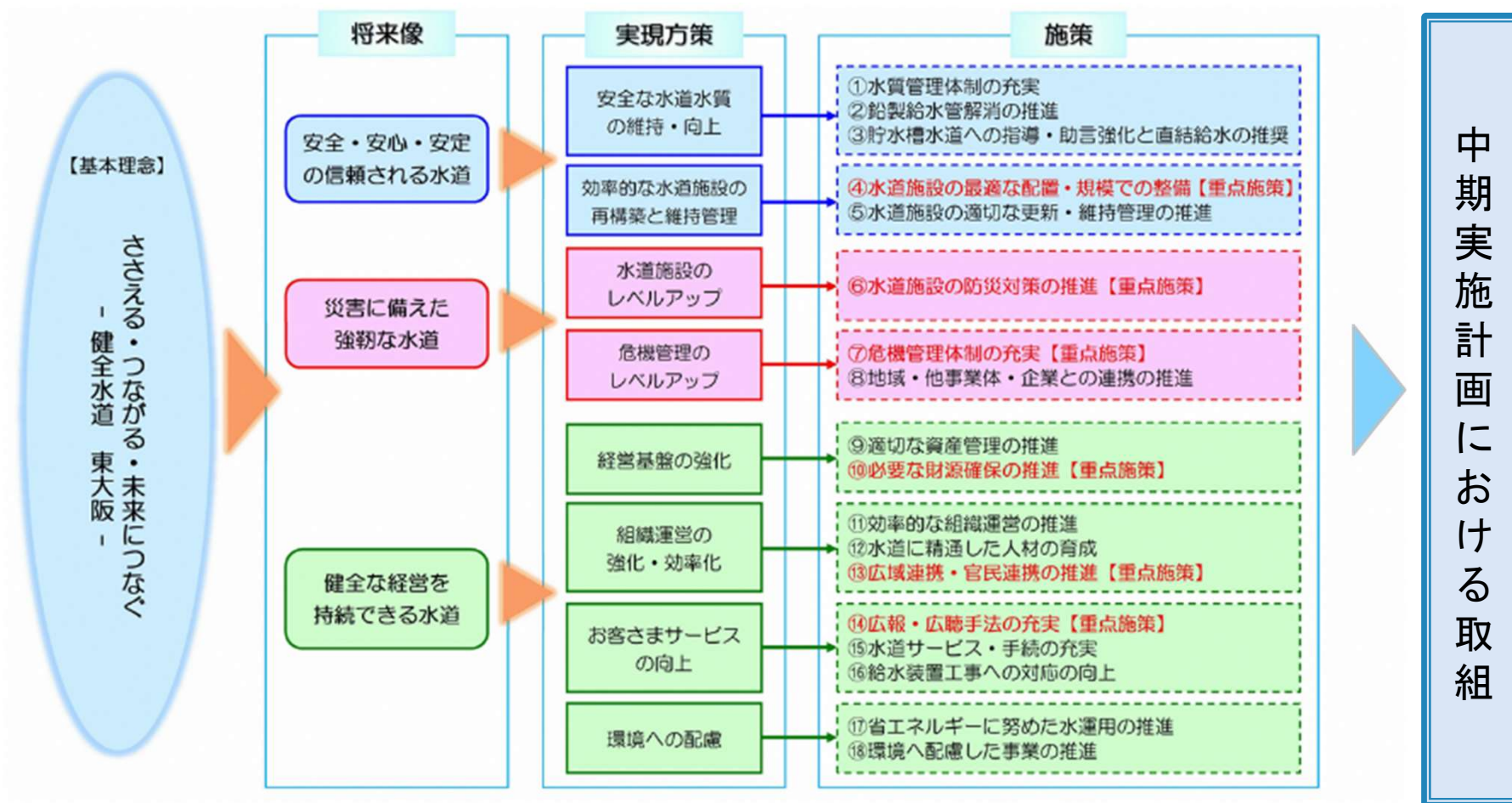
《 施策体系一覧 》

3つの将来像

8つの実現方策

18の施策

71の取組



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(1) 令和5年度 of 取組項目の進捗状況

取組項目	◎	○	△	×
71項目 (うち1件はR6年度より実施)	39項目 (55.8%)	26項目 (37.1%)	5項目 (7.1%)	0項目 (0%)

令和5年度は、取り組み項目のうち、92.9%について「◎」または「○」となり全体として概ね順調に進捗しました。

(参考) 令和4年度 ◎:36項目(51.5%) ○:29項目(41.4%) △:5項目(7.1%) ×:0項目(0%)

【凡 例】

目標	◎	○	△	×
数値目標あり	100%	80%以上 100%未満	80%未満	0%
数値目標なし	予定どおり 達成	概ね達成	一部達成している が遅れている	未実施



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

重点施策

平成30年12月に実施された水道法改正の趣旨、本市水道事業における重点的な施策推進の必要性、近年の水道事業環境の変化に対する優先度を勘案して、18の施策のうち6つの施策を「重点施策」として位置づけます。

NO.	重点施策内容
施策④	水道施設の最適な配置・規模での整備
施策⑥	水道施設の防災対策の推進
施策⑦	危機管理体制の充実
施策⑩	必要な財源確保の推進
施策⑬	広域連携・官民連携の推進
施策⑭	広報・広聴手法の充実



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策④ 水道施設の最適な配置・規模での整備

◆石切高区浄水場の配水池化に向けた整備 【取組No.14】

- ・当該浄水場は、規模が小さい一方で浄水場の更新・維持管理の負担が大きい
ため、浄水施設を廃止し、配水池として再整備を進めます。
- ・令和5年度 は、関係機関との取水停止に向けた協議・調整を実施しました。
- ・令和7年度に浄水施設の廃止を目指します。

◆統廃合を含めた施設の最適配置及びダウンサイジング【取組No.15】

- ・将来的な水需要減少に対応した管路更新時の管口径の適正化(ダウンサイジング等)を引き続き進めました。
- ・令和5年度における管路更新延長約9.1km区間
管路の縮径→約1.4km



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲配水用ポリエチレン管

施策⑥ 水道施設の防災対策の推進

◆配水池の耐震化【取組No.23】

・五条中区配水池の耐震補強工事を令和5年度の完工を目指しておりましたが、配水池の劣化状況から一部改修の必要が生じたため、耐震補強と改修の工事を合わせ、令和5年度に着工し、令和6年度の完工を目指しています。

・配水池耐震化率 R5年度:50.0% ➡ R6年度:52.4%(予定)

◆管路の耐震化【取組No.24、25】

・管路更新のペースアップに伴い、重要な水道管である基幹管路の耐震化、そして配水支管は重要給水施設への供給ルートの耐震化を優先に進めました。

・令和5年度の目標値を達成できました。

基幹管路耐震適合率 ➡55.3%(前年度比 1.9ポイント上昇)

重要給水施設配水管路耐震適合率 ➡37.0%(前年度比 4.1ポイント上昇)

管路(全体)耐震管率 ➡18.6%(前年度比 0.8ポイント上昇)



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑦ 危機管理体制の充実

◆業務継続計画(BCP)の策定【取組No.30】

- ・大規模な災害等により断水が生じても継続的に給水事業を行うために、業務継続計画(水道BCP)の策定作業に着手し、令和6年度の策定を目指します。

◆災害対策研修・訓練の実施【取組No.31】

- ・有資格者に対する給水車運転訓練を実施し、災害発生時に係る基本技能の習得に努めました。
- ・日本水道協会大阪府支部による災害対策訓練に参加し、情報伝達訓練・応急給水訓練を実施しました。
- ・大阪広域水道企業団と合同で拠点給水設備を使用した応急給水訓練を実施しました。



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑩ 必要な財源確保の推進

◆適切な水道料金の見直し【取組No.39】

- ・経営審議会において、大阪広域水道企業団との統合案を前提とした料金改定について了承を得たが、企業団との統合に関する議案が否決されたため、今後、**市単独運営での料金改定を検討する必要**があります。

◆水道施設の建設・維持管理コストの低減【取組No.42】

- ・他企業との共同施工、低コスト材料や低コスト工法の採用、建設発生土の再利用、管路口径の適正化により建設コストの抑制に努めました。
- ・**令和5年度の効果額 約330,318千円**



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑬ 広域連携・官民連携の推進

- ◆大阪広域水道企業団との統合を含む広域化の検討【取組No.53】
 - ・大阪広域水道企業団と本市を含む6市は、令和7年4月からの水道事業統合に向け検討協議を進めました。
 - ・しかしながら、令和6年第1回定例会における本会議で議案が否決となりました。これを受け、令和7年4月の水道事業統合の検討協議は継続しないことを決定しました。
- ◆近隣事業体との業務共同化の推進【取組No.54】
 - ・近隣市の枠組みに東大阪市も参加し「東部三市水道水質共同検査」の協定締結を行い、検査機器等の効率化を図りました。
- ◆民間活力を利用した新たな発注方法の調査・実施【取組No.56】
 - ・小規模簡易DB方式による管路工事を1件発注した。



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲東大阪市民ふれあい祭りの様子

施策⑭ 広報・広聴手法の充実

◆戦略的な情報提供、PRの推進・充実【取組No.57】

・水道週間によるPRの実施として、東大阪市民ふれあい祭りのパレードの部に参加やFC大阪ホーム試合での啓発イベントを実施しました。

・HANAZONOEXPOに出展し、災害時の備えについて啓発を行いました。

・市広報番組「虹色ねっとわーく」に水道事業についての特集を放映しました。

◆定期的な外部意見広聴の実施

・市の広報部局と連携し、LINEアンケートを実施しました。

(配信数:44,258人、回答数:4,021人)。

◆環境・社会学習による水道への理解促進

・小学校への出前教室、水走配水場の施設見学を実施しました。



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績1

NO.	指標項目	前年度 (R4年実績)	当年度 (R5年実績)	当年度 (R5年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
1	水質基準不適合率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	水安全計画の運用・改善	運用中	運用中	適宜改善	適宜改善	適宜改善
3	鉛製給水管率(%)	6.4	5.9	6.5	5.5	3.1
4	小規模貯水槽水道点 検率(%)	---	2.2	26.0	80.0	100.0
5	配水池調査率(%)	81.8	81.8	81.8	81.8	81.8
6	管路更新率(%)	0.88	0.85	0.90	1.00	1.00



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績2

NO.	指標項目	前年度 (R4年実績)	当年度 (R5年実績)	当年度 (R5年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
7	有収率(%)	94.4	94.4	95.0	95.0	95.0
8	配水池の耐震化率 (%)	50.0	50.0	52.4	52.4	52.4
9	管路の耐震管率(%)	17.8	18.6	18.3	19.9	24.3
10	基幹管路の耐震適合 率(%)	53.4	55.3	49.6	53.2	65.3
11	重要給水施設配水管 路の耐震適合率(%)	32.9	37.0	35.7	39.6	54.4
12	料金回収率(%)	96.9	95.5	100.0以上	100.0以上	100.0以上



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績3

NO.	指標項目	前年度 (R4年実績)	当年度 (R5年実績)	当年度 (R5年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
13	料金収納率(%)	99.1	99.2	維持向上	維持向上	維持向上
14	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	262.1	267.8	350.0以下	350.0以下	350.0以下
15	内部・外部研修時間 (時間/人)	11.4	11.5	9.4	13.0以上	16.0以上
16	研究発表会における発表事例数(回)	5	5	複数回	複数回	複数回
17	インターネットによる情報の提供度(回)	242	276	向上	向上	向上
18	水道に対する満足度(%)	63.6	60.3	向上	向上	向上



2. 令和5年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績4

NO.	指標項目	前年度 (R4年実績)	当年度 (R5年実績)	当年度 (R5年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
19	配水量1m ³ 当たりの電力消費量(kWh/m ³)	0.14	0.14	維持・低減	維持・低減	維持・低減
20	建設副産物のリサイクル率(%)	99.2	100.0	90.0以上	90.0以上	90.0以上
21	再生可能エネルギー利用率(%)	0.43	0.43	向上	向上	向上



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

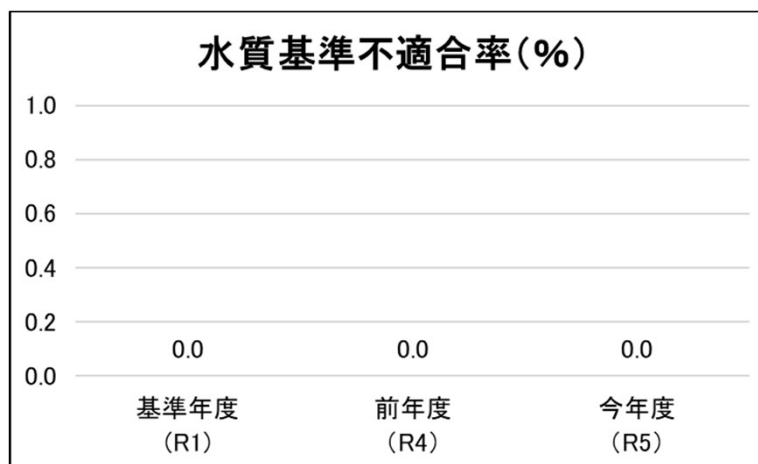


▲水質検査の様子

①水質基準不適合率(%)

計画数値(R05):0.0%
中間目標(R07):0.0%
最終目標(R12):0.0%

指標の
優位性



■水質基準不適合率

給水栓での水質基準に対する不適合割合。

◆評価

令和5年度水質検査計画に基づき、計画的に水質検査を実施しました。

令和5年度の水質検査結果は、全て水質基準適合で水道水に異常はありませんでした。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

②水安全計画の運用・改善

計画数値(R05):適宜改善
中間目標(R07):適宜改善
最終目標(R12):適宜改善

指標の
優位性

—

■水安全計画の運用・改善

水質管理の運用状況に基づく対応措置・方法の改善度合い及び水質基準の改定等の状況変化への対応状況を表す指標。

◆評価

令和5年度末に水安全計画の見直しのための点検(施設更新に伴うデータ等確認)を実施し、見直しによる改定を行いました。

東大阪市水安全計画
(概要版)



令和5年3月
東大阪市上下水道局



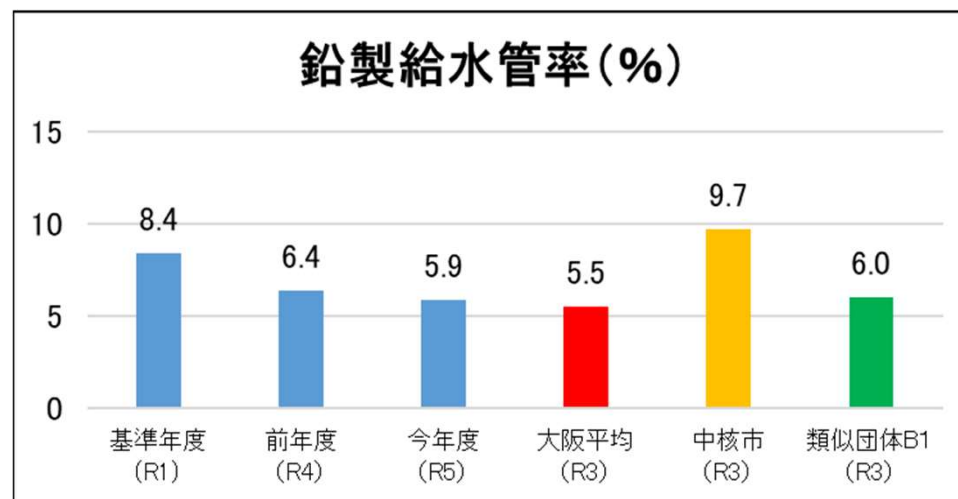
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

③鉛製給水管率(%)

計画数値(R05): 6.5%
中間目標(R07): 5.5%
最終目標(R12): 3.1%

指標の
優位性



■鉛製給水管率(%)

給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表す指標。

◆評価

鉛製給水管の早期解消を直実に進め、**鉛製給水管率5.9%となり、計画数値を達成できました。**

他都市と比べ概ね同水準にあります。



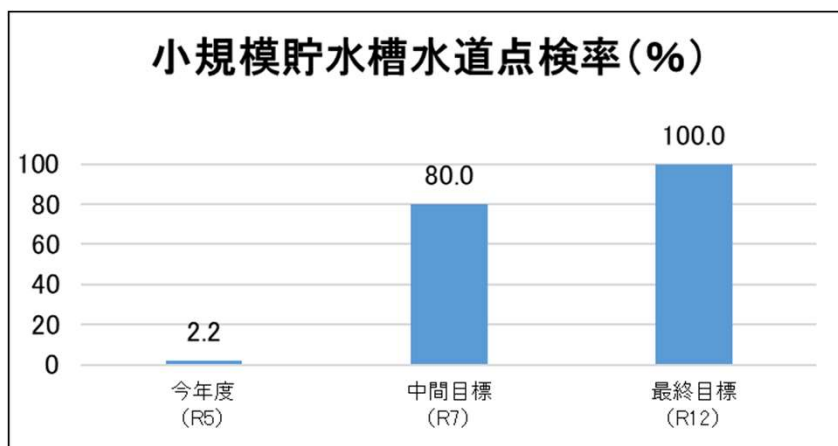
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

④小規模貯水槽水道点検率(%)

計画数値(R05): 26.0%
中間目標(R07): 80.0%
最終目標(R12): 100.0%

指標の
優位性



■小規模貯水槽水道点検率(%)

5年以内に点検を実施した小規模貯水槽水道の件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表す指標。

◆評価

現地調査(必要に応じて指導・助言)を63件実施したが、貯水槽設置者との調整から実施に至るまで予想以上に時間を要したため、小規模貯水槽水道点検率2.2%となり計画数値を大きく下回りました。



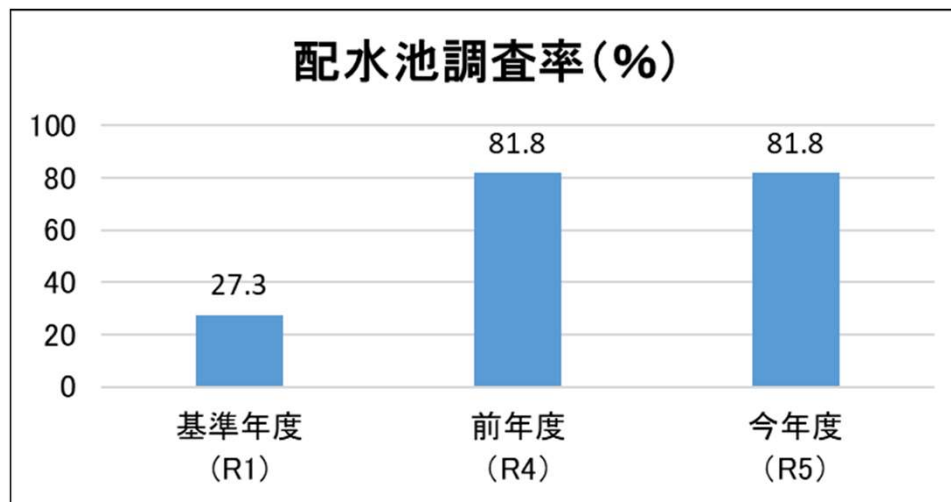
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑤配水池調査率(%)

計画数値(R05): 81.8%
中間目標(R07): 81.8%
最終目標(R12): 81.8%

指標の
優位性



■配水池調査率(%)

躯体コンクリートの劣化状況を調査した配水池の割合を示すものであり、健全性確保に向けた配水池調査の執行度合いを表す指標。

◆評価

R4年度に目標達成しました。



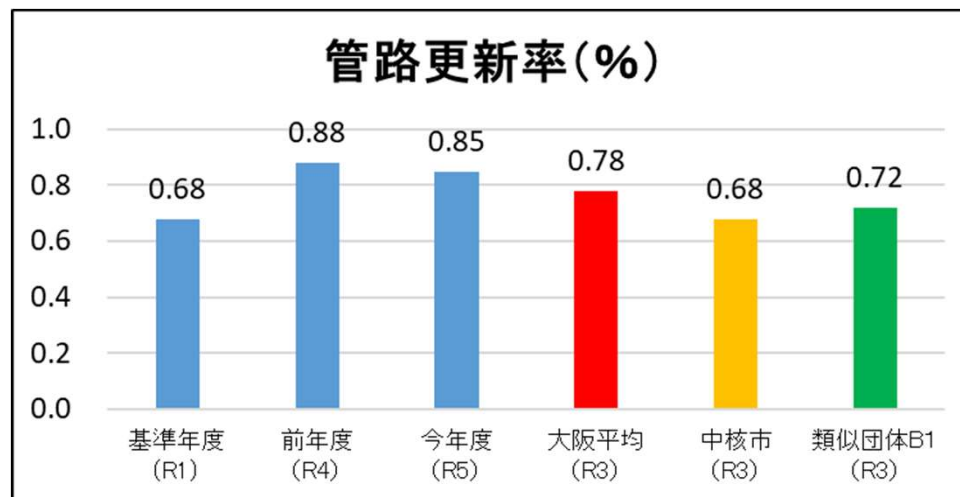
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑥ 管路更新率(%)

計画数値(R05): 0.90%
中間目標(R07): 1.00%
最終目標(R12): 1.00%

指標の
優位性



■ 管路更新率(%)

管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、管路更新の執行度合いを表す指標。

◆ 評価

管路更新延長は、9.1km(更新率0.85%)となり計画数値は概ね達成されました。

地元や関係機関との協議調整に不測の日数を要し、約0.7kmの工事が繰越することになりましたが、繰越となった更新延長は、令和6年度に完成する見込みです。
他都市と比べ若干高い更新率を維持できています。



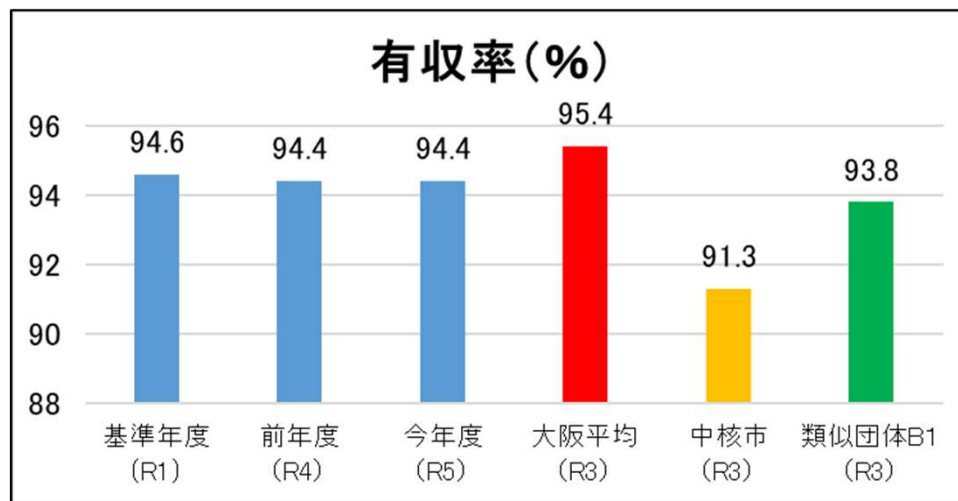
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑦有収率(%)

計画数値(R05): 95.0%
中間目標(R07): 95.0%
最終目標(R12): 95.0%

指標の
優位性



■有収率(%)

年間配水量に対する有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量がどの程度収益に繋がっているかを表す指標。

◆評価

管延長439kmの漏水調査を実施し、151件の漏水を修繕することで、不明水の減少による有収率の向上を図りました。

計画的に調査を実施したものの、有収率としては前年度と同じ94.4%となり、計画数値を下回る結果となりました。

他都市と比べ概ね同水準にあります。



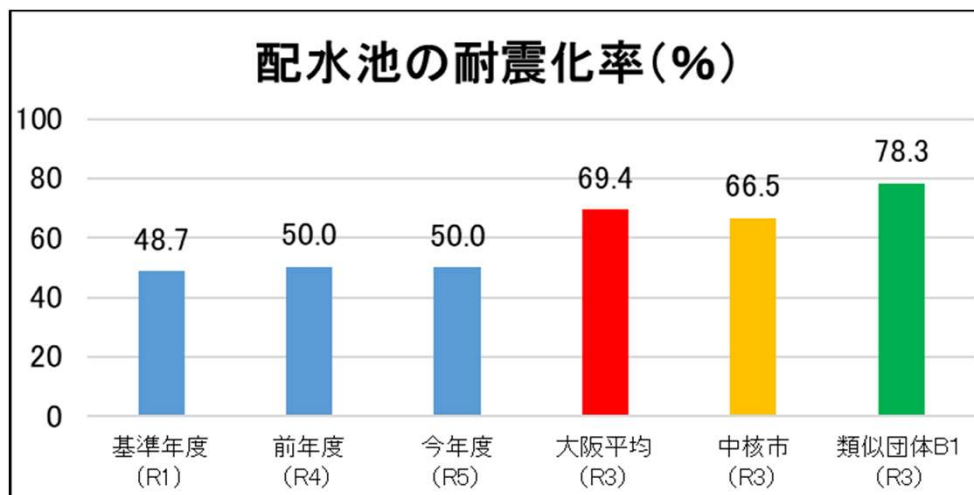
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑧配水池の耐震化率(%)

計画数値(R05): 52.4%
中間目標(R07): 52.4%
最終目標(R12): 52.4%

指標の
優位性



■配水池の耐震化率(%)

全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標。

◆評価

五条中区配水池の耐震化は、配水池の劣化状況から一部改修の必要が生じたため、令和5年度に着工し、令和6年度に完工する予定です。配水池の耐震化率は前年度と同じ50.0%となり計画数値に達することはできませんでした。

他都市に比べ低い水準となっています。



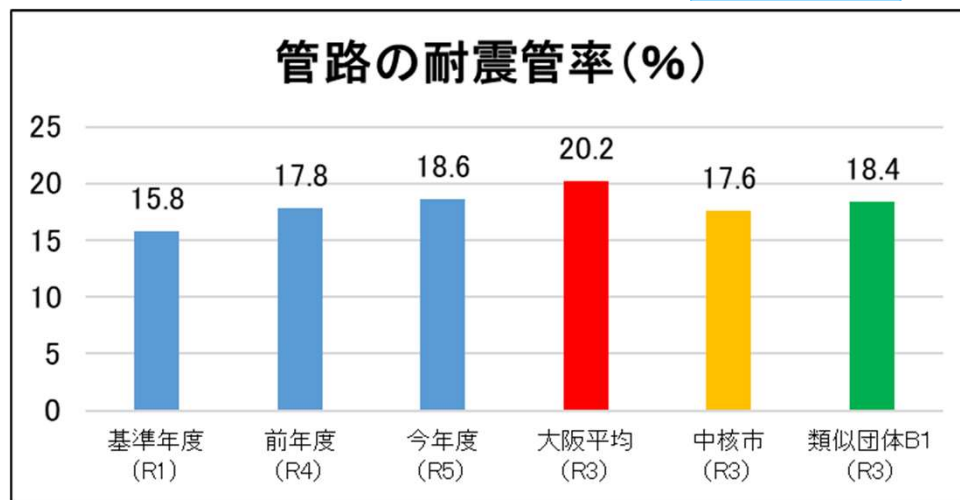
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑨管路の耐震管率(%)

計画数値(R05): 18.3%
中間目標(R07): 19.9%
最終目標(R12): 24.3%

指標の
優位性



■管路の耐震管率(%)

全ての管路の延長に対する耐震管延長の割合を示すもので、災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

管路更新のペースアップに伴い、老朽管から耐震管への更新が進んだことにより、管路の耐震化率は、18.6%となり、計画数値を上回ることができました。

他都市と比べ概ね同水準にあります。



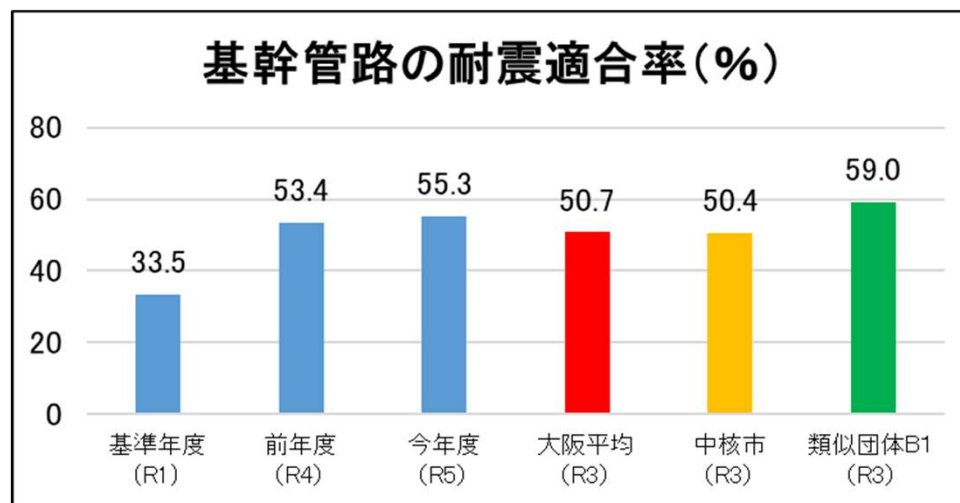
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑩基幹管路の耐震適合率(%)

計画数値(R05): 49.6%
中間目標(R07): 53.2%
最終目標(R12): 65.3%

指標の
優位性



■基幹管路の耐震適合率(%)

基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

優先度の高い基幹管路の耐震化を着実に進め、基幹管路の耐震化率は、55.3%となり、計画数値を上回ることができました。
他都市と比べ概ね同水準にあります。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

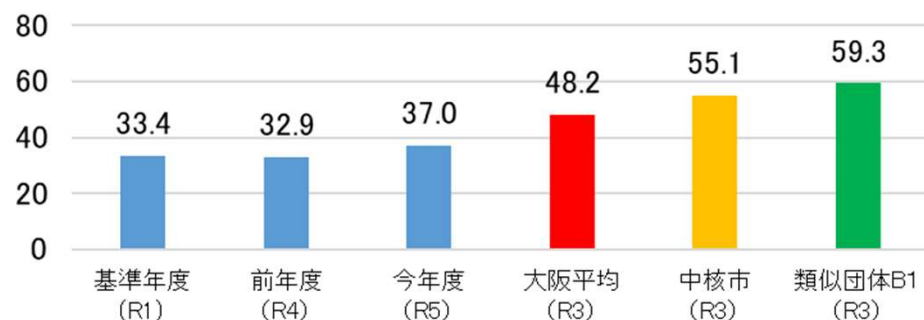
⑪重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)

計画数値(R05): 35.7%
中間目標(R07): 39.6%
最終目標(R12): 54.4%

指標の
優位性



重要給水施設配水管路の
耐震適合率(%)



■重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)

重要給水施設への配水管の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、大規模な地震災害に対する重要給水施設配水管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

給水優先度が高い重要給水施設への供給ルート^①の耐震化を着実に進め、**重要給水施設配水管路耐震化率は、37.0%となり、計画数値を上回ることができました。**他都市と比べ低い水準にあります。



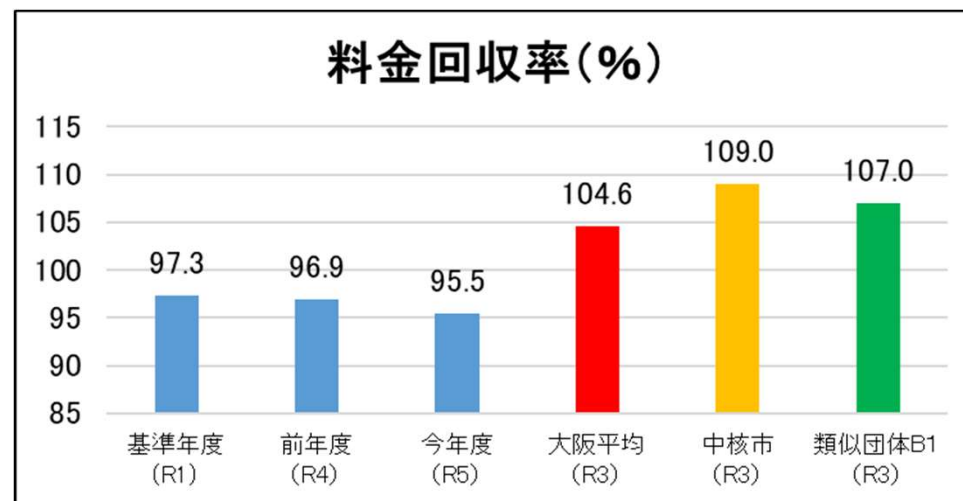
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑫料金回収率(%)

計画数値(R05): 100.0%以上
中間目標(R07): 100.0%以上
最終目標(R12): 100.0%以上

指標の
優位性



■料金回収率(%)

給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆評価

料金回収率は依然として100%を下回っており給水収益のみでは原価割れ状態が続いています。

水道料金の改定は、企業団との統合に関する議案が否決されたため、市単独運営での料金改定を検討する必要があります。
他都市と比べ低い水準にあり、給水にかかる費用を給水収益で賄うことができていません。



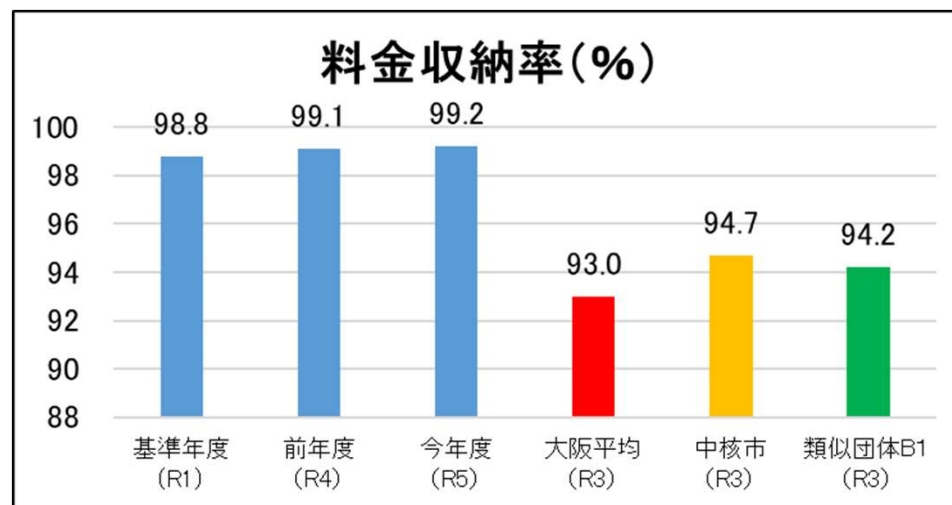
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑬料金収納率(%)

計画数値(R05):維持・向上
中間目標(R07):維持・向上
最終目標(R12):維持・向上

指標の
優位性



■料金収納率(%)

1年間の水道料金総調定額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆評価

閉栓未収対応及び高額滞納者対応等、未納対策の強化を実施しました。また、給水停止解除条件として、原則未納額の全額入金での解除を前提に交渉することで、収納率向上に取り組み、**昨年度の料金収納率を上回りました。**

他都市に比べ高い収納率を維持できています。



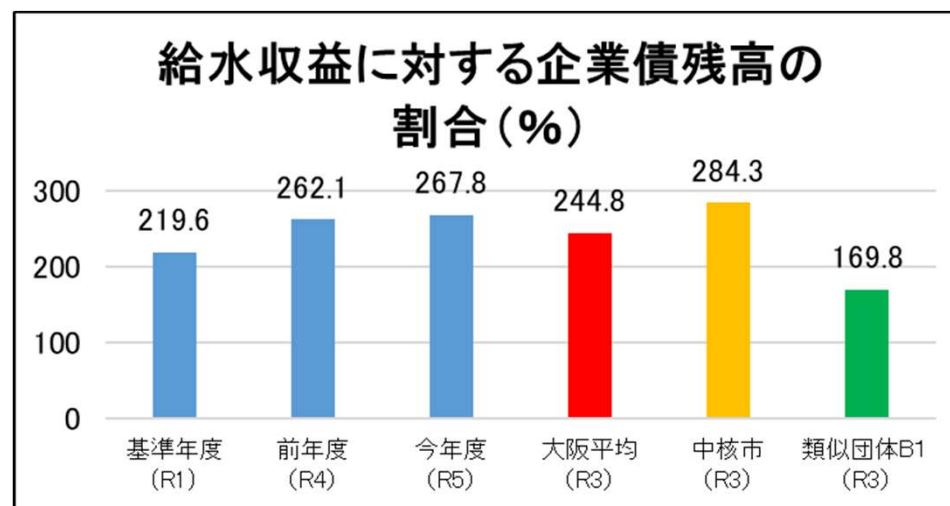
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑭給水収益に対する企業債残高の割合(%)

計画数値(R05): 350.0%以下
中間目標(R07): 350.0%以下
最終目標(R12): 350.0%以下

指標の
優位性



■給水収益に対する企業債残高の割合(%)
給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標。

◆評価

令和5年度は、企業債の借入充当率を40%から50%へ引き上げを行ったが、給水収益に対する企業債残高の割合は計画数値を下回ることができました。

他都市に比べ概ね同水準にあり、企業債残高の適正管理ができています。



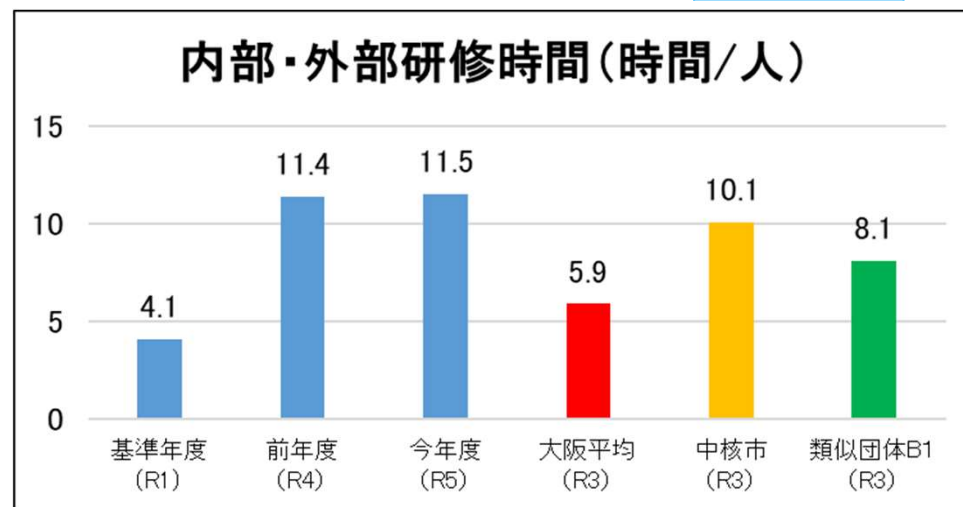
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑮内部・外部研修時間(時間/人)

計画数値(R05): 9.4以上
中間目標(R07): 13.0以上
最終目標(R12): 16.0以上

指標の
優位性



■内部・外部研修時間(時間/人)

職員一人当たりの内部・外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆評価

令和5年度においては、昨年度に引き続き積極的な研修参加により、**一人当たりの研修時間が目標値を上回る事ができました。**

他都市の平均は、令和3年度の値であるため、コロナ禍による影響を受けて全体的に低くなっているものと推察します。

(参考: R1年度 大阪平均: 15.8、中核市平均: 17.1、類似団体平均: 15.4)



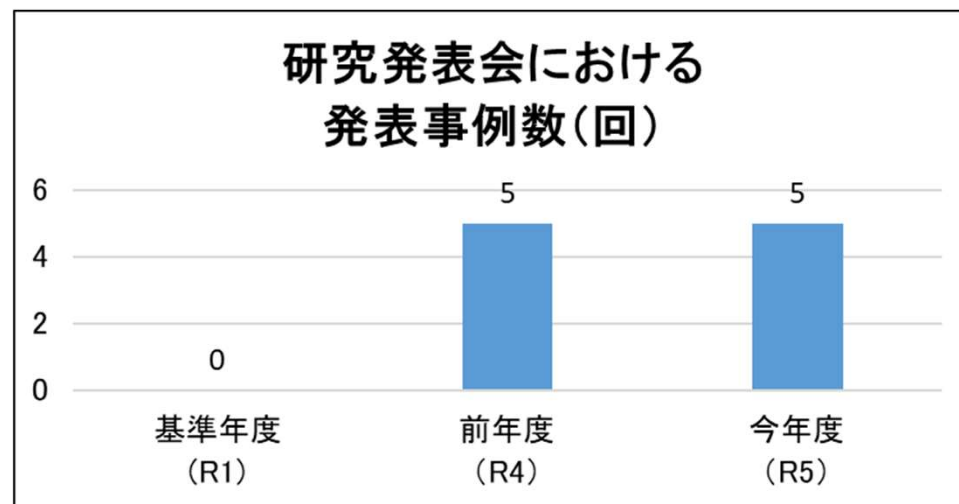
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑩研究発表会における発表事例数(回)

計画数値(R05):複数回
中間目標(R07):複数回
最終目標(R12):複数回

指標の
優位性



■研究発表会における発表事例数(回)

日本水道協会等の研究発表会における発表事例数を示すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆評価

日本水道協会全国会議で2件、日本水道協会関西支部にて3件発表したことで、**発表事例数の目標である複数回を達成できました。**

参考: 研究発表テーマ

- ・ 重要給水施設への応急給水方法の調査からOJTへ
- ・ 東大阪市における管網再構築の取組
- ・ 配水管布設における建設コスト縮減の取組



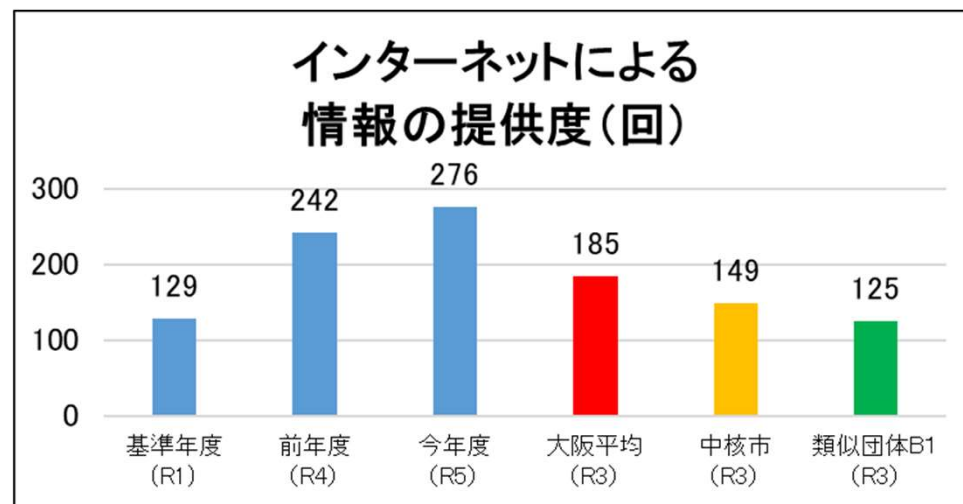
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑰インターネットによる情報の提供度(回)

計画数値(R05): 向上
中間目標(R07): 向上
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



■インターネットによる情報の提供度(回)

水道事業の情報発信回数を表すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す指標。

◆評価

市公式SNS(X、Facebook、LINE、YouTube)を活用した広報を実施することで、SNSからも市ウェブサイトへアクセスできるよう努めました。

積極的な発信を継続することで、**前年度の実績を上回ることが出来ました。**

他都市に比べ比較的高い水準になっています。



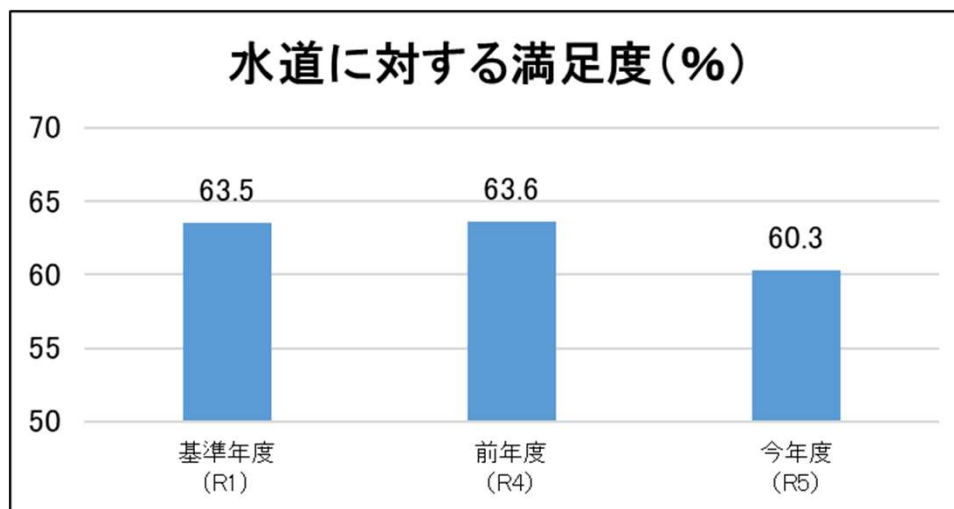
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑱水道に対する満足度(%)

計画数値(R05): 向上
中間目標(R07): 向上
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



■水道に対する満足度(%)

アンケートで水道に「満足」等と回答した人数割合を示すもので、お客さまの満足度を表す指標。

◆評価

市の広報部局と連携し、LINEアンケートを実施しました。LINEアンケートでは前年度を上回る4,021人の回答(配信者数:44,258人)を得ることができました。

(参考:令和4年度LINEアンケート

回答数:2,882人 配信者数:12,135人)



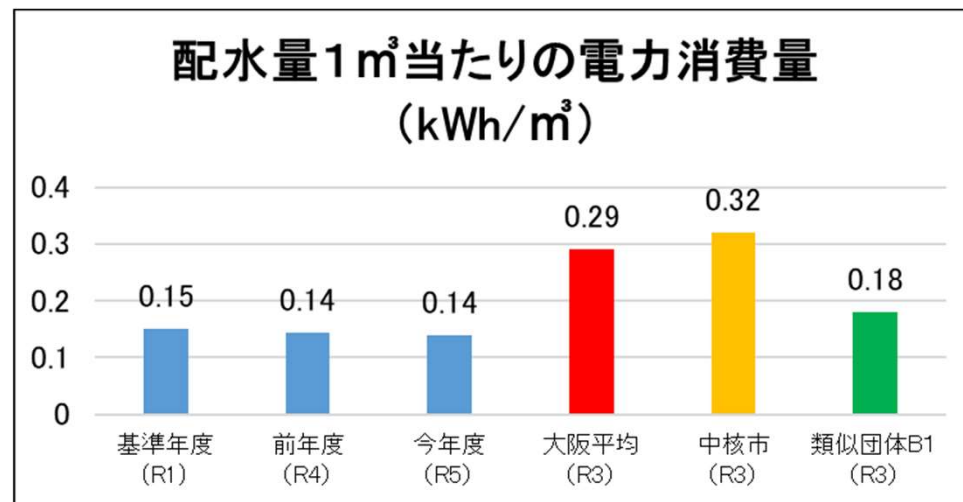
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑭配水量1 m³当たりの電力消費量(kWh/m³)

計画数値(R05):維持・低減
中間目標(R07):維持・低減
最終目標(R12):維持・低減

指標の
優位性



■配水量1 m³当たりの電力消費量(kWh/m³)
配水量1 m³当たりの電力消費量を示すもので、省エネルギー対策への取り組み度合いを表す指標。

◆評価

前年度と同じ0.14kWh/m³を維持できています。

他都市に比べ比較的高い水準になっています



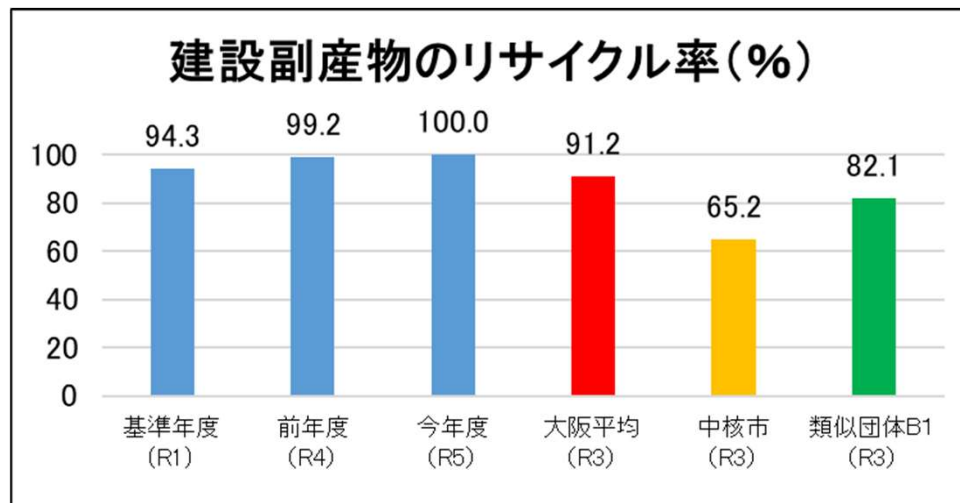
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

②建設副産物のリサイクル率(%)

計画数値(R05): 90.0%以上
中間目標(R07): 90.0%以上
最終目標(R12): 90.0%以上

指標の
優位性



■建設副産物のリサイクル率(%)

水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、再資源化(再使用・再生利用)された建設副産物の割合を示すもので、環境保全への取り組み度合いを表す指標。

◆評価

建設副産物の有効利用を積極的に進め、**建設副産物のリサイクル率は、100%となり、計画数値を上回ることができました。**他都市と比べ比較的高い水準になっています。



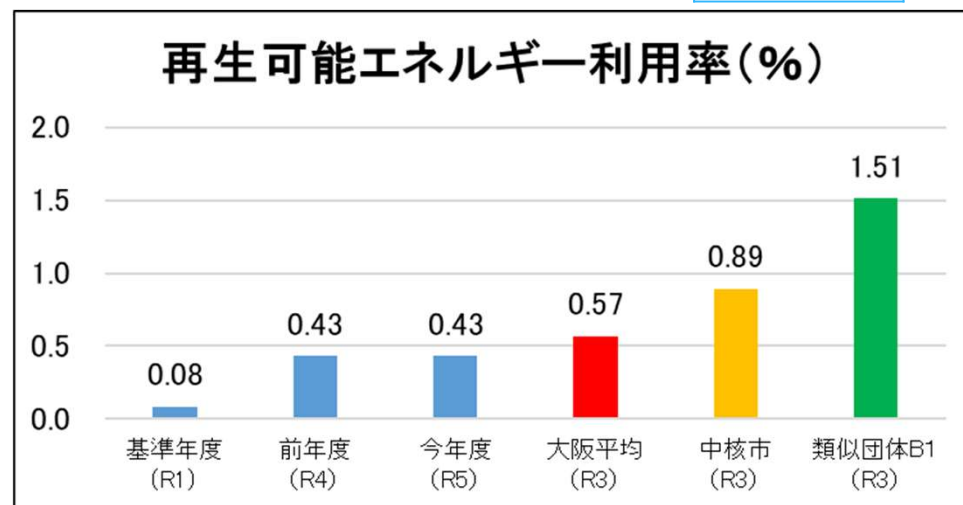
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

②再生可能エネルギー利用率(%)

計画数値(R05): 向上
中間目標(R07): 向上
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



■再生可能エネルギー利用率(%)

全施設の電力消費量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもので、環境負荷低減に対する取り組み度合いを表す指標。

◆評価

前年度と同じ0.43%を維持できています。
他都市に比べ比較的低い水準になっています



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策② 鉛製給水管解消の推進

鉛製給水管解消に向けた新たな制度の検討・実施 (取組No.9)

◆主な課題◆

【助成等の制度導入の検討】

他市の導入事例や他事業の助成金制度をもとに検討を行ったが、導入による事務量の増加に対する効果や実績が得られにくいなどの課題があることが分かりました。

●今後の対応●

助成金制度の内容や実施時期を改めて検討を行います。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策③ 貯水槽水道への指導・助言強化と直結給水の推奨

貯水槽調査における管理状況等の情報提供 (取組No.11)

◆主な課題◆

【小規模貯水槽の現地把握と点検】

約4,100件ある小規模貯水槽水道の現地調査(必要に応じて指導・助言)を63件実施したが、貯水槽設置者との調整から実施に至るまで予想以上に時間を要したため、指導内容及びサイクルの見直しが必要になります。

●今後の対応●

小規模貯水槽水道点検率を高めるため、新たな手法含め検討します。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策④ 水道施設の最適な配置・規模での整備【重点施策】

統廃合を含めた施設の最適配置及びダウンサイジング (取組No.15)

◆主な課題◆

【受水中継ポンプ場の建設】

R4年度より用地取得協議に時間を要したため、その後の建設工事に関わる他のスケジュールについても全体的に遅れています。

[関連：取組No.67]

●今後の対応●

山間部低区エリアの給水安定性の向上を図るため必要な新たなポンプ場の建設については、今後これ以上スケジュールに遅延が生じないように関係部署と連携を図りつつ計画的に取り組めます。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策⑩ 必要な財源確保の推進【重点施策】

保有資産の有効活用(未利用地の使用許可、貸付、売却等)
(取組No.41)

◆主な課題◆

【保有資産の有効活用(未利用地の使用許可、貸付、売却等)】

売却可能な施設の諸課題(隣地との境界問題)について、一定の方向性を決定したが、当該年度の売却には至りませんでした。

●今後の対応●

令和6年から7年度にかけて問題の解決を図り、令和7年度中の売却を目指します。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策⑪ 省エネルギーに努めた水運用の推進

受水圧・位置エネルギー活用の推進(取組No.67)

◆主な課題◆

【受水圧・位置エネルギーの継続活用】

水運用における環境負荷の低減は図れている状況ですが、更なる低減に向けて、受水エネルギーの有効活用を目指した新たなポンプ場の用地取得協議に時間を要したため、その後の建設工事に関わる他のスケジュールについても全体的に遅れています。[関連:取組No.15]

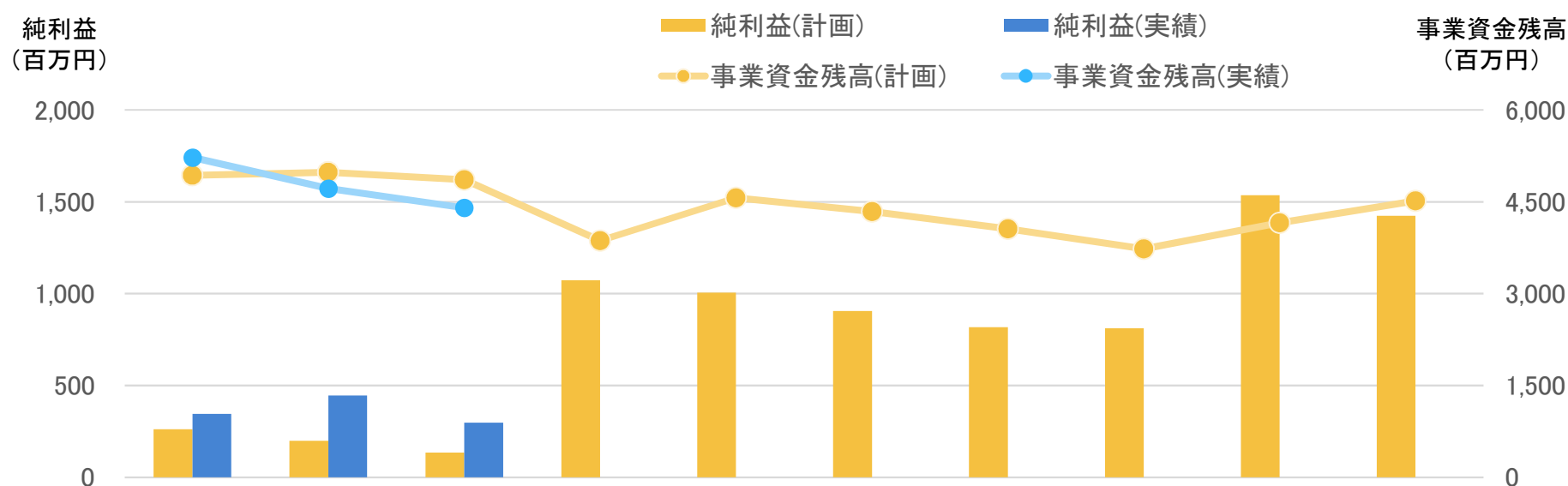
●今後の対応●

新たなポンプ場の建設については、今後これ以上スケジュールに遅延が生じないように関係部署と連携を図りつつ計画的に取り組めます。



4. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ

《 事業資金残高と純利益の実績と推移予測 》



4. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ

1. 現状における財政状況

- 令和5年度の純利益は黒字を確保していますが、資金残高は減少しています。
- また、料金回収率が依然として100%を下回るなど、安定的な財政運営には課題があり、厳しい経営状況が続いています。

2. 水道ビジョン計画期間中における財政状況

- 料金改定を行わなかった場合、令和7年度に収益的収支が赤字となることが見込まれます。
- 料金改定時期について検討し、適切な時期に料金改定を実施することで、計画期間中の黒字決算および目標とする資金残高を維持します。

